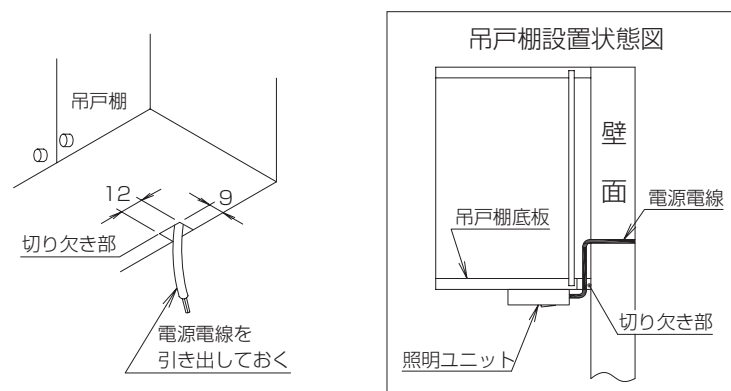


③吊戸棚底板の端面に、電源電線の通るスペース（9 × 12mm）を切り欠き、電源電線を引き出してください。



(2) 本体の取付

- ①取付孔寸法（3. 製品寸法図）を参照の上、取付位置を決めてください。
- ②取付面（吊戸棚底板）の左右の取付孔位置に、タッピンねじを3～4mm残し、仮締めします。
- ③本体のダルマ穴に、仮締めしたタッピンねじ頭をはめて、本体を奥にスライドさせます。
- ④取付状態を確認し、タッピンねじを固定します。
- ⑤中央の取付孔にタッピンねじを固定します。

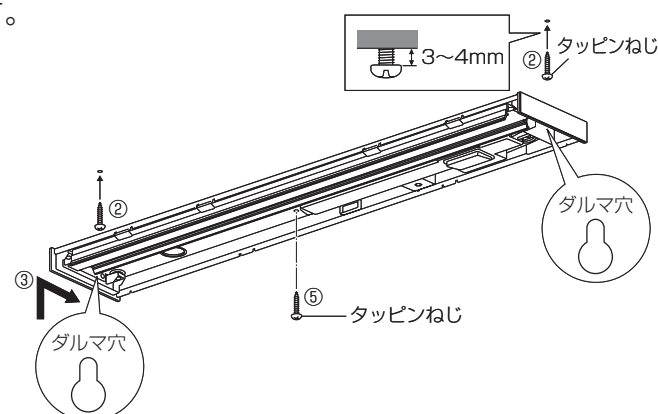
⚠ 注意

!

付属のタッピンネジ3本を使って確実に固定してください。

落下するおそれがあります。

必ず実行



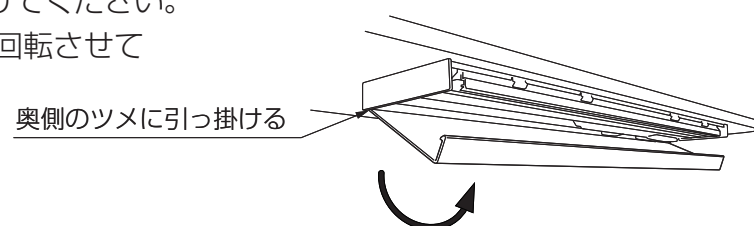
(3) 電源電線の接続

- ①電源電線を電源端子台の位置まで引き込んで、たるまないように長さを調節してください。
- ②電源電線を電源端子台の差込孔の奥まで、銅線が見えなくなるまで確実に差し込んでください。



(4) 各部品の取り付け

照明カバーを元の通りに確実に取り付けてください。
※奥側のツメに引っかけて、手前側に回転させてはめ込んでください。



(5) 試運転

設置作業が終わったら、取扱説明書の使用方法を参照して正常な運転ができるか、また本体の取り付けが正しいかを確認してください。

KS-RKLN1200N (00)



Takara standard

照明ユニット 設置説明書

品 番
SMY-57 LED

設置される方へのお願い

- ◆設置作業の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく設置してください。
- ◆取扱説明書・設置説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
お渡しできない場合は、お客様のわかりやすい場所に収めておいてください。

1. 安全上のご注意 必ずお守りください

- 設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告 この表示の欄は「死亡や重傷を負うことが想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

禁止 このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

必ず実行 このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

分解禁止 分解しないでください。

⚠ 警告

分解禁止 ●改造はしない。修理技術者以外の人、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。

必ず実行 ●器具の取付けは、設置説明書・内線規定・電気設備の技術基準に従う
器具の落下・火災・感電の原因となります。

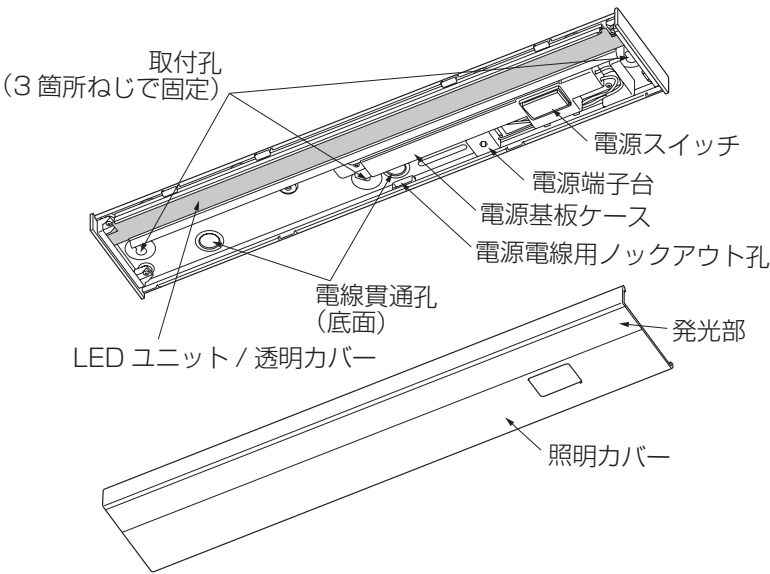
禁止 ●強い振動・衝撃のある場所に取付けない
器具の破損により、落下の原因となります。

禁止 ●キッチン棚下専用器具のため、以下の場所には取付けない
・天井や壁面
・器具の取付面全面が接していない場所
・傾斜のある場所や、補強が弱い場所

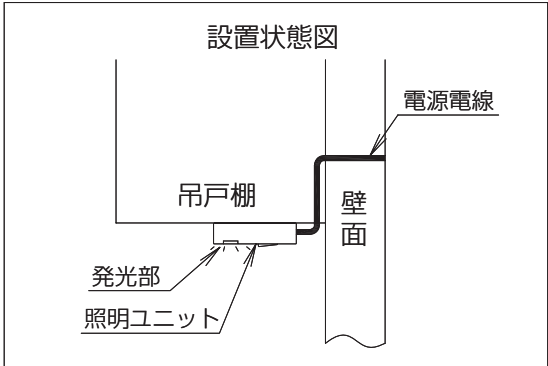
⚠ 注意	
❗ 必ず実行	●部品の取り付けは確実におこなう 落下により、けがをするおそれがあります。
❗ 必ず実行	●交流 100V ± 6% の電圧で使用する 火災・感電の原因となります。
❗ 必ず実行	●電源電線の接続は確実におこなう 接続部が過熱して火災のおそれがあります。
🚫 禁止	●ドアの開閉で当たる部分に器具を取付けない 器具の破損により、落下の原因となります。
🚫 禁止	●油煙や湯気の当たるような場所に取り付けない ガスコンロ、湯沸かし器などの真上に取り付けると、火災、故障の原因となることがあります。

お 願 い	
●照明カバーに無理な力を加えない 照明カバーの割れ・落下の原因となります。	
●LED ユニットの透明カバーははずさない 感電の原因となります。	

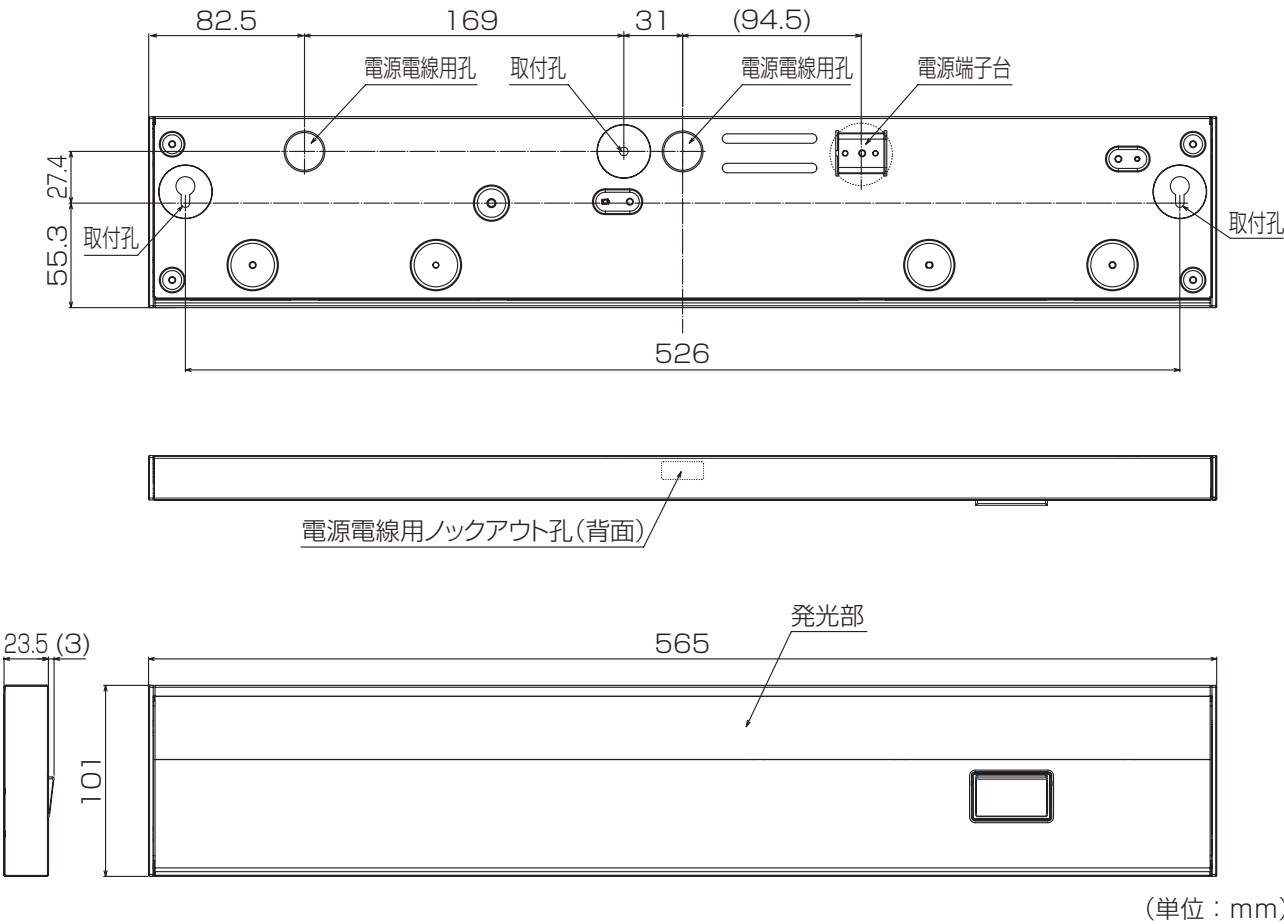
2. 各部の名称



付属部品
 ●バインドタッピンねじ 4 × 12 (3本)
 ●本体用ブッシング (1個)



3. 製品寸法図



4. 取付方法

- (1) 取付前の準備
 ①発光部側の左右どちらかの端を、本体を押さえながら引き上げ、照明カバーを取りはずしてください。
- ⚠ 注意
 ●照明カバーをはずすとき、マイナスドライバーなど工具は使用しないでください。破損するおそれがあります。
- ②背面の電源電線用ロックアウト孔 (3. 製品寸法図参照) をドライバー等の先端で打ち抜き、付属の本体用ブッシングをロックアウト孔の背面からはめ込んでください。

⚠ 注意
 ●ロックアウト孔を打ち抜くとき、中の部品にドライバー等が当たらないように注意してください。破損するおそれがあります。